

経営比較分析表（令和2年度決算）

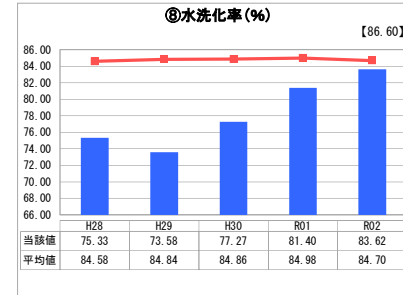
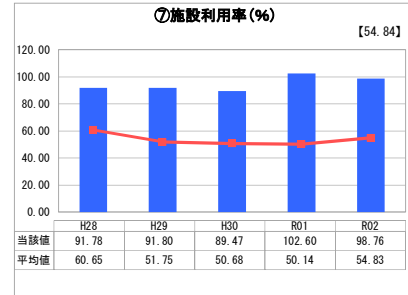
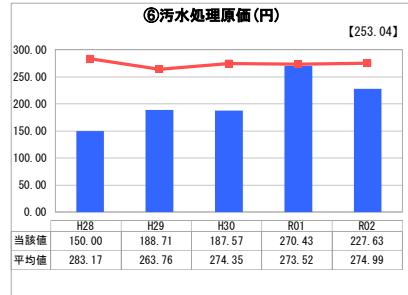
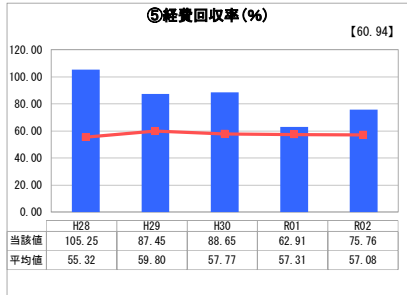
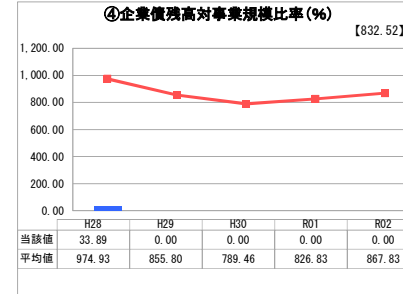
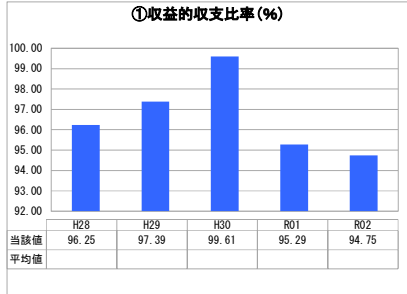
栃木県 宇都宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.29	56.86	4,246

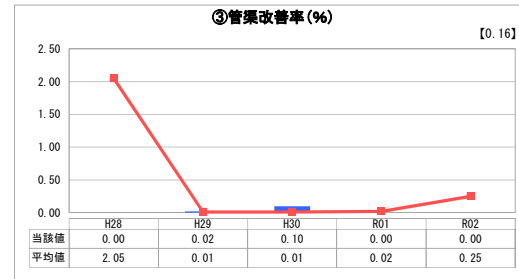
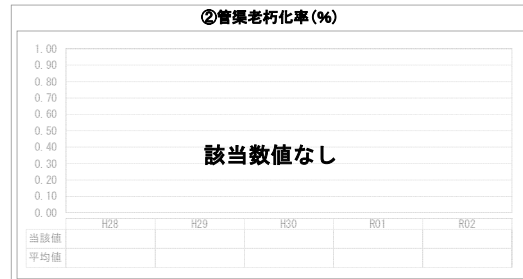
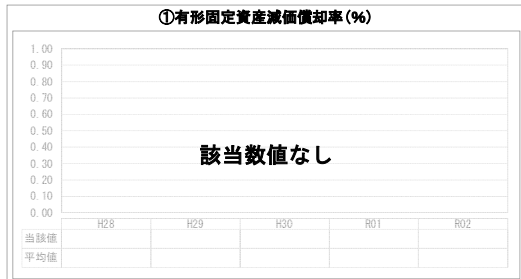
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
521,104	416.85	1,250.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,917	6.33	1,882.62

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」については、前年度並みに推移しており、依然として100%を下回っている。「⑤経費回収率」については、使用料が増加したことから前年度と比べ改善したものの、H29以降、100%を下回る状況が続いており、汚水処理費を使用料で賄えていない。

これは、H29から5か年計画で、下水道管路台帳の電子化に取り組んだことにより、汚水処理費が高水準で推移しているためである。

また、「⑥汚水処理原価」についても、H29から増加しており、同様の理由によるものである。

「⑧水洗化率」については、効果的な接続促進に取り組んだ結果、順調に増加しており、今後も引き続き接続促進に取り組み、水洗化率の向上を図っていく。

以上のことから、本市の農業集落排水事業は、効率化のために実施している管路台帳整備に要する費用は一時的であるものの、今後、施設の老朽化により修繕等の維持管理費が増加すると見込まれることから、更なる水洗化率の向上を図り使用料の確保に取り組むとともに、引き続き費用の削減に努めていく。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超過した管渠がなく、老朽化の進んだ管渠も比較的少ないため、管渠の劣化状況により必要に応じて改築・修繕工事を実施していることから、「③管渠改善率」は低い値となっている。

全体総括

本市は、「⑤経費回収率」及び「⑥汚水処理原価」が類似団体平均よりも良好な状態にあるが、将来的には、施設の老朽化に伴う建設改良費の増加が見込まれる。

今後は、公共下水道への接続による施設の統廃合の推進や、施設の長寿命化に必要な改築・修繕を計画的に実施し、施設の効率的な維持管理に努めていく。

また、経営状況を的確に把握するため、R4から企業会計へ移行する予定であり、更なる経営の健全化に取り組んでいく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。